

琴浦町総合教育会議 会議録

日時 平成29年6月26日(月) 午後3時30分～午後5時00分

場所 琴浦町生涯学習センター 第1会議室

出席者 山下一郎町長、小林克美教育長、石前富久美教育委員、田中宣彦教育委員
山本浩子教育委員、佐伯健二教育委員

欠席者 なし

その他出席者 渡邊教育総務課長、大谷社会教育課長、長尾人権・同和教育課長

傍聴人 なし

議事日程

日程第1 開会あいさつ

日程第2 琴浦町総合教育会議運営要項説明

日程第3 協議・意見交換
(1) 今日的課題への対応と連携について

日程第4 その他

日程第5 閉会

平成29年度 第1回琴浦町総合教育会議概要記録
会議内容の記録

開会 午後3時30分

教育総務課長 町長、教育長より開会のあいさつをお願いします。

町長 本日は平成29年度第1回総合教育会議ということで、教育大綱等の再確認をする重要な会だと認識しています。この度の議会で、新たな教育委員さんの任命が議決しました。日頃から教育委員さんには、様々なことで助けていただき深く感謝を申し上げます。琴浦町の教育の在り方、方針を確認する会になると思っています。

高校生進学奨励金については、地方創生、少子化の問題を考える中で、一般対策化の政策を執ってきました。

大学・専修学校についても、以前から一般対策化をすべきではないかとの意見がありましたが、財政的な制約、継続するための予算措置を伴うことですので慎重に考えてきました。協議を重ねてきた中で、この度、大学・専修学校の進学奨励金も一般対策化を行う方針を出したところです。

同和対策事業の一つとして進めてきたものを一般化するということですので要綱等の変更も必要となると思います。本日の会で皆さんの意見等をお聞きできればと思います。

教育長 この総合教育会議は、町長と教育委員会とで構成するもので、連携を深める意味で法改正がなされました。教育委員会部局の皆さんには、思いを町長にしっかりと伝えていただきたいと思います。意義のある会にしましょう。

教育総務課長 ありがとうございます。それでは大綱の策定について説明します。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、この会議において、平成29年度の教育に関する大綱を策定します。

大綱の策定にあたっては、文科省通知において、教育振興基本計画を策定している自治体は、計画をもって大綱に代えることができるとされています。本町はこの自治体に該当します。

本町教育委員会が策定した平成29年度教育関係要覧をご覧ください。本要覧は第2次琴浦町総合計画に基づき琴浦町教育行政の基本を理念的・骨格的に整理し計画をまとめたものであります。計画の進捗状況・社会情勢の変化をみながら毎年見直しを行い、教育委員会で協議を重ね、修正をしているものです。要覧については、7月にホームページ等で公開予定です。

本大綱を策定するにあたり、教育委員会の基本的な考え方を教育長より説明

します。

教育長

(資料により説明)

1 ページをご覧ください。最初に、琴浦町基本計画をあげています。

次に基本理念です。こちらにつきましては、ことうらまちづくりビジョン—第2次琴浦町総合計画—を基本に、3つの基本理念を定めています。

続いて、基本テーマです。5つのテーマがあります。

琴浦町教育構想図として、先ほどの基本計画、基本理念、基本テーマに続いて、基本目標として3つの柱を立て、今年度重点的に取り組む事項を整理しています。

町の方針が大きく変わった時には、教育大綱も大きく見直すことになると思いますが、そうでなければ細かい部分の見直しで良いのではないかとされています。今回は、町の第2次まちづくりビジョンが出ましたので、これに合わせた形での見直しとなると思います。

町長

教育大綱の内容に、町の総合計画の内容と重複している部分がありますし、レイアウトも内容が掴みにくいように思います。

教育総務課長

総合計画を策定している自治体については、それをもって教育大綱に代えることが出来るということで、このような内容になりました。

町長

分かりやすくするためにこのような図式化したものがあると思いますが、やはり見づらいように感じます。

教育委員

総合計画そのものが載っている部分は省いても良いのではないのでしょうか。

町長

分かりやすく丁寧にとの思いでこのような内容になったのだと思いますが、見る側からすると、琴浦教育についての内容を前面に出した方が分かりやすいのではないかと感じました。

教育長

それについて、みなさんはどうですか。

町長

字の大きさを変えたり、カラーにすると見え方が違ってくると思いますがどうでしょうか。

教育総務課長

それでは、重複している部分は省き、分かりやすく見やすいレイアウトに作り直してみたいと思います。

それでは協議に入ります。議長を町長にお願いします。

町長

(1) 今日の課題への対応と連携について

自由討論形式で意見交換をしていただけたらと思います。

教育委員

教育委員会議で説明がありましたが、進学奨励金の一般対策化についてです。地方創生と絡めて行うことは良いことだと思います。地方創生に資するということになると、単にお金を支給するというだけでなく、町の現状や課題などの地元の情報を県外に出ている人たちに定期的に届けることが大事だと考えます。

例えば、SNS等の手段を使って情報提供することは良いことだと思いますが、まず誰がやるのか。担当課だけではなく、企画情報課等と連携していかないと続かないのではないかと懸念します。

県外に出ている本町出身の学生に、町の情報を常時提供するを行い、この進学奨励金という支援と絡めていく方が、この施策が長続きするのではないかと考えます。

町長

その通りだと思います。全町での取組みとなると思います。

ただ、受給している本人や家族に義務感や圧迫感を与えてしまうことはあってはならないと思います。

規則の目的には、この制度のももとの経緯を載せるべきだと考えます。

人権・同和教育課長

現在町ではフェイスブックを立ち上げています。若者の多くはフェイスブックを使用しているのではないかと思いますので、そういった手段を使いながら町からの情報発信をしていければと思っています。

教育委員

フェイスブックはどこが運営しているのですか。

人権・同和教育課長

企画情報課です。

町長

みなさんの方でその他意見等ありますか。

教育委員

琴浦町出身の人たちが、スポーツで世界大会に出場され活躍されています。町をあげて激励会をしてはどうでしょうか。

町長

もちろんそうしたい気持ちはありますが、一つ気になることがあります。選手たちに精神的負担感を与えてしまうことにはならないでしょうか。

教育委員

地元地域の人からの声かけ、応援はとても励みになると思います。激励会も良いのですが、まず、どの選手がどのように活躍されたかを周知してもらえるとありがたいと思います。

町長

町として、できることはする気持ちでいます。

教育長 教育委員会事務局としては、まず横断幕を作成したいと思います。その先のごことは相談していきましょう。

町長 それでは次に、英語教育についてはどうですか。

教育長 英語が教科化されます。先行実施として来年度から小学5・6年生は英語の授業、3・4年生が英語活動、1・2年生はDVD教材を使った活動を取り入れ、全学年で英語に取り組みます。

そこで、町として何ができるのかを考えた時に、町講師のような形でのALTを小学校にも配置できないかということです。町内にはたくさんの外国人が暮らしておられます。そのような方に時間単位で補助に入っていただき、先生と一緒に教えてもらう。これが可能ならば、先生たちの負担感は抑えられ、また、より良い授業内容になると思います。

町長 良いことだと思います。授業の進め方についてはどのようになるでしょう。

教育長 中学校の場合は、必ず英語の教員と一緒に出て教科書に沿って授業を行います。ただ、教壇に立つのはほとんどがALTです。二人で同時進行している形です。

町長 みなさんの英語教育に対する認識はどうですか。町独自の講師配置についても意見等お聞かせください。

教育委員 義務教育である小学校はみんなが平等に学べる場所なので、そこでネイティブな発音を聞かせてもらえることはありがたい事だと思います。様々な事情で塾に通えない子どもたちにとってはとてもプラスになると思います。授業の中で英語に触れ、耳に慣れるということは良い事だと思います。

町長 やはり、子どもの貧困問題がこの英語教育や先ほどの進学奨励金において関連していると言えますね。その他ありますか。

教育委員 家庭教育の充実も含め、子どもたちに均等に学習する機会を与えてあげられるよう考えていきたいです。

町長 英語が将来役立つのはもちろんです。町独自の講師を配置した場合、それが一番良い方法となるでしょうか。

教育委員 中学校の計画訪問で、ALTの授業で子どもたちが一生懸命に取り組む姿勢を見えています。ALTに、ぜひ小学校に出向いていただけないかと聞いたところ、

時間的に難しいとのことでした。

中学校同様の授業が実現するならば、町独自の講師配置は良い結果につながると思います。

町長 みなさんどうですか。

教育委員 基本となるのは国語であると思います。国語を土台として英語を学ばないと、内容を伝えきることはできないと思います。

教育委員 将来進学する上で、受験科目に英語は必須だそうです。そのために高校では、英語力をしっかりとつけるよう指導されます。高校までに英語にどれだけ関わってきたかが大きく影響してくると思います。国語と英語を同時進行で学べることは進路実現に役立つと思います。

教育長 違う言語を学ぶということは、違う思考が広がることにつながります。そういった側面もあると思います。世界の共通語とされている英語ですので、世界に踏み出す勇気ももらえるとと思います。

町長 それらはやはり小学生から始めた方が良いということなのですね。

教育長 できることなら0歳からが理想と考えます。小さい時ほど発音がスムーズに入ってきます。

町長 その他ありますか。

教育長 白鳳祭の時のバス乗り場について、一般車両が多い中の乗り場なのでスムーズな発車ができないという声がありました。総合体育館周りのポールを一部撤去すればスムーズに廻せると思うのですがいかがでしょう。

人権・同和教育課長 私が商工観光課にいた時にその話が出ました。その時の結論は、あの場所は大きな車両が通ることを想定していないので難しいという事でした。補強がしてあれば可能だと思います。

社会教育課長 今年度は車止めのポールを外して対応する予定です。

教育委員 公民館の活用についてですが、教育委員会だけではなく、自治会と結びついて展開していったほしいのですがいかがですか。

町長 今年度、以西地区、古布庄地区においては集落支援員を配置しました。公民館と連携して様々なことを展開されると思います。公民館の在り方を考えていか

なければいけないと思っています。

教育委員 私自身、自治会で活動する側で公民館を見るが多かったのですが、土日が休みなので集まりにくいように思いました。

町長 そのあたりも含めて在り方を改善していく必要がありますね。
その他意見等ありますか。ないようですので、協議は以上です。

教育総務課長 次に、その他ありますか。ないようですので、閉会します。